



NaraKiKiManyo Project Since 2012

なら記紀・万葉

「なら記紀・万葉プロジェクト」とは

現代と古代、古代と未来。
楽しみながら、
歴史とのつながりを
実感する取り組みです。

『古事記』完成1300年の2012年から、

『日本書紀』完成1300年の2020年へ。

ふたつの節目となる年をつなぐ、

9年間にわたるプロジェクト。

歴史や伝承の魅力を再発見する「気づく」心、

豊かな歴史を「生かし」「味わう」心、

先人が伝えたアイデンティティーを「誇りに思う」心、

さらに次世代へとつないでいく「継承」の心。

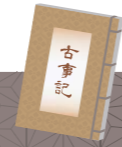
この4つの心で、「本物の古代と出会い、

本物を楽しめる奈良」を発信してきました。

「記紀・万葉」とは

古事記・日本書紀・万葉集の

『古事記』とは、何ですか？



『古事記』は712年に完成した、現存する日本最古の書物です。全3巻からなり、天地の始まりから推古天皇の時代までの、さまざまな物語が記されています。中には、大国主神が傷ついたウサギを助ける『因幡のしろうさぎ』など、昔話として語り継がれているものもたくさんあります。



書いたのは、誰ですか？

序文には、天武天皇の命令で舎人の禊田阿礼が暗記した物語を、太安万侶が書物にまとめたと書かれています。天武天皇の崩御後、作業は一時中断しますが、約30年後、元明天皇の時代に完成しました。



何のためにつくられたのですか？

序文には、「いろいろな家に『帝記』『本辞』が伝わるが、虚偽も多い。これらは国家の根本だから、きちんと考察し、正しいものを定めて後世に伝えようと思う」という天武天皇の言葉が記されています。国内向けに、天皇家の正当性をアピールする目的があったと考えられています。

基礎知識 Q & A

『日本書紀』は、
何のためにつくられたのですか？



『日本書紀』は7世紀後半から編纂が始まったとされる、日本ではじめての公式の歴史書です。本文30巻と系図1巻（現在は亡失）からなり、出来事を年代順に記す編年体の体裁をとっています。当時は日本の国号を東アジア諸国に認めさせようとしていた時代。ほかの国々に国威を示す上でも、正史の編纂は重要な事業でした。

書いたのは、だれですか？

編纂は『古事記』同様、天武天皇の命で始まりました。『日本書紀』には序文が無く、成立の経緯はわからないことも多いのですが、当初川島皇子らが始め、舎人親王らが引き継ぎ、720年に完成したと考えられています。



『古事記』との違いを教えてください

『日本書紀』では神話の時代の記述は最初の2巻のみで、残る28巻は、初代神武天皇から第41代持統天皇までの、さまざまな事績の記述です。第33代推古天皇までを記す『古事記』と重複はしますが、内容には違いも多く、一例として、有名なヤマトタケルと父・景行天皇の関係についての記述が大きく異なる点などが挙げられます。



「なら記紀・万葉プロジェクト」では、『古事記』『日本書紀』『万葉集』に代表される歴史文化資源を「記紀・万葉」と表現しています。『古事記』『日本書紀』『万葉集』には日本の源流についてのさまざまな記述があり、それぞれに異なる視点で、古代日本のありようを伝えています。

『万葉集』とは何ですか？



『万葉集』は奈良時代の貴族・大伴家持が編纂に関わったとされる、日本に現存する最古の歌集です。全部で20巻あり、掲載される歌の総数は、約4,500首に上ります。天皇や貴族だけでなく、兵士や農民まで、身分を問わずいろいろな人が詠んだ歌が収められています。

古文が苦手でも楽しめますか？

『万葉集』の魅力に触れるには、古文の知識よりも、歌が詠まれた背景を知ることが大切です。例えば、「東の野に炎の立つ見えて かへり見すれば 月傾きぬ(巻一四八)」。柿本人麻呂が軽皇子(後の文武天皇)と阿騎野(現宇陀市大字陀)に狩りに来た時に詠んだとされる歌で、軽皇子を昇る朝日になぞらえてたたえつつ、沈む月に、亡き草壁皇子を懐かしんでいると考えられています。



『万葉集』の魅力に
触れられる場所を教えてください

奈良県を舞台に詠まれたとされる万葉歌は、約900首。万葉歌碑も県内各所にありますから、まずはお近くの万葉歌の舞台を探してみるのが良いかもしれません。また、明日香村にある奈良県立万葉文化館をはじめ、『万葉集』を紹介する文化施設などをめぐるのがおすすめです。